

東海林 剛

(民主クラブ)

第5次総合計画の課題は

問 人口減少、少子高齢化社会への対応について①子育て支援の拡充②地域福祉計画に基づく地域での見守り体制③地域福祉の担い手である民生児童委員の活動しやすい環境づくり、以上3点について見解を伺う。

答 ①認可保育所再編事業、緑町児童センター整備事業、児童養護施設整備資金利子補給の新規事業、さらに母子保健事業、予防接種事業、新たな保育サービスの提供を拡充事業として掲



第5次富良野市総合計画

げている。②「小地域ネットワーク」づくりを展開しながら推進している。地域コミュニティ意識の醸成、自治会組織や民生委員児童委員と連携しながら活動のすそ野を少しずつ広げ、自発的な福祉活動を継続的に進める事が重要であると認識している。

③市として民生委員児童委員協議会への支援と協力が欠かせないものと認識している。今後も協議会が効果的に運営されるよう、引き続き情報提供、助成などの支援及び連携を図っていきたい。

問 過疎地域活性化対策について①地域活性化推進計画の策定内容②過疎が進む農村地域で生活し続ける条件整備と農村実態調査の経過と活用についての2点について見解を伺う。

答 ①麓郷のふるさとづくり計画、山部地区観光振興計画、東山地域観光振興計画の3地区に加え、その他の地域での活性化を想定し総合計画の指標では4地区とした。②地域コーディネーターやアドバイザーの招へいなども含め、地域ニーズに合わせ条件整備を進めていきたい。

大栗 民江

(公明党)

市民税・固定資産税・国保税の納付回数拡大は

問 納期ごとに納税するのに大変な負担感がある。1回当たり納付金額が増えているので、できるものから納付回数を増やし負担軽減ができないか。

答 市民税並びに固定資産税の納期回数は検討していく。国保税の納付回数は、滞納状況を鑑みながら検討していく。

納税窓口の拡大は

問 郵便局では口座振替は可能



納税窓口風景

でも通常の納付書では窓口納付ができ難い状況にある。拡大の考えを伺う。

答 納税者から納付希望の連絡があれば郵便局用振込用紙を郵送している。通常納付書への説明記載等により、今後もこの納付方法の周知を図りたい。

相談時のプライバシー確保は

問 市職員だと思うからプライベートなことも相談するが、人の目が気になり躊躇される方もいる。経済事情に配慮した相談体制、適正課税の環境づくりは。

答 訪問を行うなどサービスの向上に努めていきたい。

障害者控除対象者認定書は

問 障害者控除を受けられるのは障害者手帳所持者だけと思いい制度自体を知らない方も多。市の考え方、対応、周知は。

答 要介護5及び4を特別障害者に準ずる者とし、1から3を障害者に準ずる者として認定。広報ふらのに加え、市ホームページ・ラジオふらのの・要介護認定の申請や決定通知の際にも周知をしていく。